第46期 中間報告書

（2023.3.1 ～ 2023.8.31）

イオングループ未来ビジョン

一人ひとりの笑顔が咲く
未来のくらしを創造する

イオン北海道株式会社

（証券コード 7512）

株主の皆さまへ

地域のお客さまに末永く支持していただける商品づくり、店づくりに引き続き取り組みます

代表取締役社長

青柳　英樹

当第2四半期は、お客さまの外出意欲の高まりの中、北海道においてはこれまでにない猛暑や、継続的な節約志向などのニーズに対し、当社が持つ多様な店舗網と独自商品にて確実にお応えすることで、売上高は衣料・食品・住居余暇すべての部門で伸長し、過去最高となりました。

また、営業利益は、水道光熱費の高騰が影響し販管費が上昇しましたが、売上高の伸長やテナント収入の回復などで増益となりました。

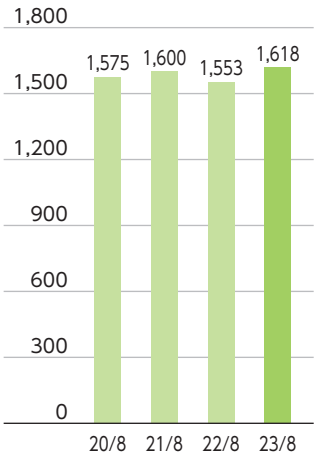
当年度は中期5ヵ年経営計画の3年目であり、折り返しの年度です。早期に事業モデルを確立し、成長を加速すべく、地域のお客さまに末永く支持していただける商品づくり、店づくりに引き続き取り組んでまいります。

株主の皆さまには変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

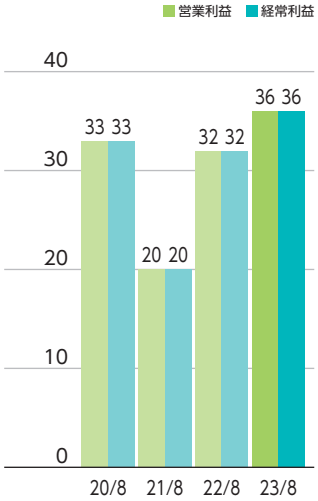
2023年11月

財務ハイライト

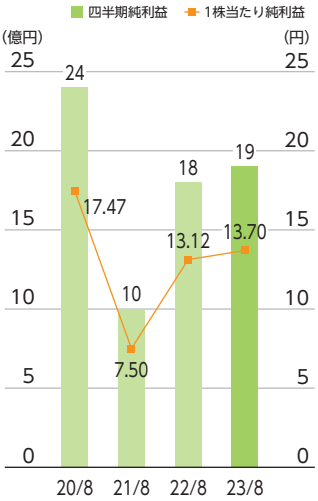
売上高　（単位：億円）



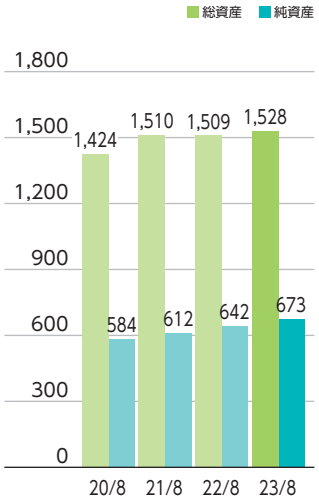
営業利益・経常利益　（単位：億円）



四半期純利益



総資産・純資産　（単位：億円）



（注）2022年8月期の各数値は収益認識会計基準を適用した後の数値となっております。

◆損益計算書の概要

（単位：百万円）

	第45期 2022.3.1～2022.8.31	第46期 2023.3.1～2023.8.31	増減率（%）
直営売上高	155,348	161,894	4.2
売上総利益	38,826	40,584	4.5
営業総利益	49,822	51,925	4.2
販売費及び一般管理費	46,608	48,246	3.5
営業利益	3,214	3,679	14.5
経常利益	3,264	3,686	12.9
四半期純利益	1,825	1,907	4.5

◆貸借対照表の概要

（単位：百万円）

	第45期 2022.8.31	第46期 2023.8.31	増減額
流動資産	31,975	33,328	1,352
固定資産	119,015	119,564	549
有形固定資産	95,862	96,472	610
無形固定資産	3,532	3,240	△292
投資その他の資産	19,619	19,851	231
流動負債	67,479	65,243	△2,236
固定負債	19,289	20,269	980
純資産	64,221	67,379	3,157
総資産	150,990	152,892	1,902

◆キャッシュ・フローの概要

（単位：百万円）

	第45期 2022.3.1～2022.8.31	第46期 2023.3.1～2023.8.31
営業活動によるCF	9,262	5,945
投資活動によるCF	△5,139	△3,294
財務活動によるCF	△4,155	△2,726
現金及び現金同等物の増減額	△32	△75
現金及び現金同等物の期首残高	3,771	3,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,739	3,828

四半期決算のポイント

【売上動向】

・売上高は1,618億94百万円（前年同期比104.2%）となり、過去最高となりました。

・部門別の売上高は、社会行事、季節行事への対応など、外出意欲の高まりによる需要を取り込み、衣料・食品・住居余暇すべての部門で伸長しました。衣料部門は浴衣・水着・トラベルをしっかりと売り込み、前年同期比106.3%（既存店前年同期比106.5%）と堅調に推移しました。食品部門は、猛暑の影響によるフローズン・飲料・デリカなどの需要増に対応したことで前年同期比104.6%（既存店前年同期比104.3%）と伸長しました。住居余暇部門は、規制緩和によりマスクを外す機会が増えたことから化粧品が好調で前年同期比101.7%（既存店前年同期比102.0%）となりました。

【利益動向】

・営業総利益は、売上高増加による売上総利益が回復したことに加え、社会経済活動が活発化したことでテナントの売上が伸長し、519億25百万円（前年同期比104.2%）となりました。

・販売費及び一般管理費は、積極的な投資や出店の実施や水道光熱費の高騰による影響を受けましたが、省エネ効果が見込まれる機器の導入やその他の経費削減により増加影響を緩和し、482億46百万円（前年同期比103.5%）となりました。

・その結果、営業利益は36億79百万円（前年同期比114.5%）、経常利益は36億86百万円（前年同期比112.9%）、四半期純利益は19億7百万円（前年同期比104.5%）といずれも増益となりました。

部門別売上高実績

（単位：百万円）

	売上高	前年同期比	既存店前年同期比
衣料	9,804	106.3%	106.5%
食品	131,340	104.6%	104.3%
住居余暇	20,661	101.7%	102.0%

部門別売上総利益率

	売上総利益率	前期差
衣料	40.8%	+0.7
食品	23.5%	△0.0
住居余暇	27.8%	+0.1

通期の見通し

中期5カ年経営計画の3年目となる2023年度は、事業モデル確立の年度と位置づけ、「商品と店舗の付加価値向上」「顧客化の推進」「収益構造の改革」「地域との連携」の4つの方針に沿って取り組み、売上高3,310億円の達成を目指します。新規出店や店舗活性化、当社独自商品の開発・販売、「ブラックフライデー」や「初売り」などの集客セールスの強化、iAEONを活用した顧客化の推進やセルフレジ、電子棚札導入などデジタル化を推進するなどし、数値計画達成に向け取り組むとともに、環境・社会貢献活動においても引き続き推進してまいります。

売上高	3,310億円（前期比 4.3%増↗）
営業利益	88億円（前期比 5.4%増↗）
経常利益	88億円（前期比 3.5%増↗）
当期純利益	48億円（前期比 2.0%増↗）

売上高の拡大

▶ 新規出店・店舗活性化

新規出店については、3月、札幌市北区に「マックスバリュエクスプレス新川3条店」をオープンしました。後方施設の最小化や、従来のチラシに頼らないクーポンでの販促など、効率的に運営するモデル店舗です。大型活性化は計7店舗で実施し、デリカ、フローズンの売場拡大を柱に、地域に親しまれている地場商品の取り扱いを拡大するなど、立地特性やお客さまのライフスタイルに合わせた品揃えを実現するとともに、設備を一新し、お買い回り環境の改善を図りました。

マックスバリュエクスプレス新川3条店

大型活性化

イオン上磯店（北斗市）

マックスバリュ北野店（札幌市）

活性化した7店舗合計の前年同期比109.2%（活性化翌月～8月末の実績）

▶ GMSにおける地域交流地点再構築～各種イベントの再開～

GMSの地域交流地点としての役割を果たすべく、文化芸術の披露や地域の方々のためのイベントを本格的に再開しました。ゴールデンウイーク期間中には前年の約1.5倍、お盆には約2.2倍のイベントを開催し、地域の賑わいを創出するとともに、店舗の客数増に寄与しました。

地元の高校生が店舗内広場で吹奏楽演奏
8月にイオン旭川西店で開催

▶ 独自商品の開発・プライベートブランド強化

商品開発において、当社ならではのオリジナル商品を約360品目開発、リニューアルしました。6月には試行錯誤の末に商品化した「イオン北海道 本気！のザンギ」を販売し、現在においても大変ご好評をいただいております。

イオンのプライベートブランド「トップバリュ」は、新しいブランド体系のもと販売強化し、売上高前年同期比113.1%となりました。

イオン北海道 本気！のザンギ
GMS、SM各店舗で絶賛販売中

▶ 衣料・住居余暇の取り組み

衣料・住居余暇においては、社会行事、季節行事の再開によるニーズの高まりをいち早くとらえ、売上高拡大につなげました。6月には「浴衣」において販売を強化し、積極的なPRを行い、売上高前年同期比164.1%と伸長しました。トラベル、化粧品の売場においてもニーズに応えるべく品揃え拡充を図り、好調に推移しました。

くすみカラーの浴衣

▶ ネットスーパー配送拠点の拡大

当社のネットスーパーは離島を除く、全道各地に配送可能で、当日朝8時までにご依頼いただければ、全道どこへでも即日配送可能です。

ネットスーパーについては、需要増に対応すべく受注件数拡大のため、作業の効率化を進めたほか、イオン小樽店、札幌藻岩店、紋別店、札幌麻生店に拠点を新たに設置し、環境を整備しました。売上高前年同期比は105.9%と伸長しております。

店舗型ネットスーパーの拠点設置

顧客化の推進　イオンのトータルアプリ「iAEON」の活用

最重要の顧客接点であるイオンのトータルアプリ「iAEON」について、利便性拡大と会員数拡大に取り組みました。具体的な取り組みとしては、AEON Payの機能の充実を図り、お支払い時のWAON POINTの充当のほか、イオンクレジットカードや銀行口座からチャージができるようにし、お客さま自身で限度額を決めた利用ができるようになりました。また、クーポンを通じた販促においては約320種類発行したほか、応募システムを実装するなどし、上期の会員数は前年度末の約1.4倍となっています。

本年新たに開始した「スゴ推しクーポン」

収益構造の改革　店舗デジタル化、効率化の取り組み、省エネ投資

店舗デジタル化の取り組みについて、「セルフレジ」においてはレジ業務の効率化を目的としていますが、レジ混雑緩和にも効果があり、上期28店舗に導入しました。POPの取り付け作業の軽減や売価違いによる対応減少に効果のある「電子棚札」は、上期13店舗に導入しました。効率化の取り組みとして、自社プロセスセンターの活用を進め、店舗の作業軽減につなげました。また、迅速な商品補充を行えるスライド棚の導入を進めており、上期で64店舗に新規・追加導入しました。当期の総労働時間について前期比2%改善を目標としており、上期においては1%の改善となりました。

省エネ投資については積極的に推進し、冷蔵・冷凍ケースの清掃や更新、新規LEDの導入・更新など、様々な省エネ施策を行ってまいりました。上期は9.6億円の投資を行い、電気使用量は前年同期比95.3%に抑えられております。

セルフレジ

電子棚札

スライド棚

地域との連携　フードドライブ、社会貢献につながる商品企画、植樹などSDGsの推進

フードドライブは、実施店舗は2店舗から27店舗となり、大幅に拡大しました。

食品廃棄物削減に向けた取り組みとして、お客さまからも大変好評をいただいております。社会貢献につながる商品企画として、商品を購入すると、子どもたちやスポーツの応援につながる寄付企画を飲料メーカーさまと行いました。また、豪雨災害で荒廃した土地に緑を取り戻すため、2019年度より実施している南富良野町植樹ですが、今年最終年度を迎え、地域のボランティアの皆さまや従業員などと、約2,000本を植樹しました。なお、これまでの累計植樹本数は8,000本に上ります。

フードドライブ

子供たちやスポーツの応援につながる寄付企画

南富良野町植樹

株主懇談会のご案内

イオン北海道株式会社　株主懇談会

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
株主の皆さまのご意見を経営幹部が承り経営に活かしていくことを目的に株主懇談会を開催させていただきますので、ご案内申し上げます。

日　時	2023年11月21日（火）14:00～16:00
会　場	ロイトン札幌　〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目
募集人数	限定50名様（イオン株式会社と合同開催の合計人数）

実施要領

1. イオン北海道株式会社およびイオン株式会社の経営方針並びに地域の取り組みのご報告
2. 質疑応答

- 開催時間は2時間程度を予定しております。なお、当日の質疑等の状況により異なります。

申込要領

- お申し込みは100株以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。
- 参加をご希望の場合は下記のURLもしくは右下の二次元コードより専用サイトにアクセスいただき、必要事項をご入力いただきお申し込みください。
- ご応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果はご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします。
- ご参加は株主ご本人さま1名に限らせていただきます。
- 会場までの交通費は各自の負担とさせていただきます。
- ご応募の際に、必要事項にもれ等の不備がありますと、ご応募を無効とさせていただくことがありますのでご注意ください。
- ご応募に際していただいた個人情報は、本株主懇談会を実施するうえで必要な限りにおいてのみ使用いたします。
- 締切日：2023年11月9日（木）

お申し込みウエブサイト：https://onl.la/1JN5iU1

株主懇談会に関するお問い合わせ先	イオン北海道株式会社 総務部　電話番号：011-865-4120（土・日・祝日を除く9：00～18：00）

株主優待制度のご案内

2023年2月期末より優待制度を拡充いたしました

当社は2007年のイオン北海道への社名変更、さらには2020年のマックスバリュ北海道との経営統合で新生イオン北海道が誕生、「北海道のヘルス＆ウエルネスを支える企業になる」を経営ビジョンに掲げ、地域ナンバーワンの小売業を目指しております。この度、より一層株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に安定して当社株式を保有いただく「お客さま株主」として当社グループ店舗をさらにご利用いただくことを目的に「株主様ご優待券」の増額及び「長期保有株主優待」制度を新たに導入いたしました。

■ポイントその1「株主様ご優待券」を増額！

全国のイオンやマックスバリュのお店でご利用いただける優待券の贈呈金額を増額しました。

旧制度	
100～499株	25枚（2,500円分）
500～1,999株	50枚（5,000円分）
2,000株以上	100枚（10,000円分）

新制度	
100～199株	25枚（2,500円分）
200～499株	50枚（5,000円分）
500～999株	100枚（10,000円分）
1,000～1,999株	150枚（15,000円分）
2,000株以上	200枚（20,000円分）

■ポイントその2「長期保有株主優待」制度を導入！

新たに、3年を超えて500株以上を継続して保有されている株主さまへ全国のイオングループのお店で使えるイオンギフトカードを贈呈します。

保有株式数	イオンギフトカード金額
500～1,999株	2,000円分
2,000～2,999株	4,000円分
3,000～4,999株	6,000円分
5,000株以上	10,000円分

※変更後の優待制度は、2023年2月末権利確定日から導入されます。

その他、500株以上保有の個人株主さまへイオンラウンジをご利用いただける会員カードを贈呈いたします。
優待内容の詳しい内容については、当社ホームページにて是非ご覧ください。
https://www.aeon-hokkaido.jp/corporation/ir/stock_04/

取締役・監査役（2023年8月31日現在）

代表取締役社長	青柳英樹
取締役	羽牟秀幸
取締役	山本治
取締役	野尻高志
取締役	吉田昭夫
取締役	中田美知子
取締役	廣部眞行
取締役	樋泉実
取締役	柚木和代
常勤監査役	新田悟
監査役	西松正人
監査役	水野克也
監査役	西川克行

注：中田美知子氏、廣部眞行氏、樋泉実氏、柚木和代氏は社外取締役であります。
新田悟氏、水野克也氏、西川克行氏は社外監査役であります。

執行役員（2023年8月31日現在）

取締役執行役員	羽牟秀幸	管理本部長
取締役執行役員	山本治	商品本部長
取締役執行役員	野尻高志	営業本部長
執行役員	石橋孝浩	経営管理統括部統括部長
執行役員	水谷和彦	管理本部開発統括部統括部長
執行役員	奥村和重	営業本部副本部長
執行役員	五十公野晃	商品本部副本部長
執行役員	白戸正樹	商品本部食品商品部部長
執行役員	鈴木昭浩	営業本部SC事業部事業部長
執行役員	坂東聡	営業本部DS事業部事業部長
執行役員	櫻井禎久	営業本部営業企画部部長
執行役員	玉生澄絵	経営管理統括部環境・社会貢献・広報・IR部部長

株式の状況（2023年8月31日現在）

発行可能株式総数	普通株式	165,000,000株
発行済株式総数	普通株式	139,420,284株 （自己株式190,452株含む）
単元株式数		100株
株主総数	普通株式	73,249名

大株主（上位10社）（2023年8月31日現在）

株主名	持株数 普通株式	持株比率
イオン株式会社	91,289,550株	65.6%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,566,700株	2.6%
イオンフィナンシャルサービス株式会社	1,272,000株	0.9%
加藤産業株式会社	1,012,560株	0.7%
イオン北海道従業員持株会	965,731株	0.7%
BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	723,758株	0.5%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	589,700株	0.4%
マックスバリュ西日本株式会社	566,400株	0.4%
JP MORGAN CHASE BANK385781	547,862株	0.4%
JP JPMSE LUX RE NOMURA INT PLC 1 EQ CO	481,696株	0.3%

注：持株比率の算定は、自己株式（190,452株）を除外して計算しております。

書面交付請求手続きのご案内

・電子提供制度では、原則株主の皆さまへ株主総会資料の書面送付は行いませんが、インターネットのご利用が難しい株主さま、または、書面による株主総会資料を希望される株主さまは書面交付請求をいただくことで、従来通り株主総会資料を書面でお受け取りいただくことが可能です。
・書面交付請求をご希望の株主さまは、ご利用の証券会社または下記お問い合わせ先へお申し出いただきますようお願い申し上げます。

Q 書面交付請求とは？

インターネットを利用することが困難な株主さまを保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主さまには株主総会資料を書面でお送りします。
なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。

Q 書面交付請求の受付期限は？

株主総会の基準日までにお申し出が必要です。お手続きには2週間以上お時間がかかる場合がございますので、余裕をもってお手続きを行ってください。

Q お手続き方法は？

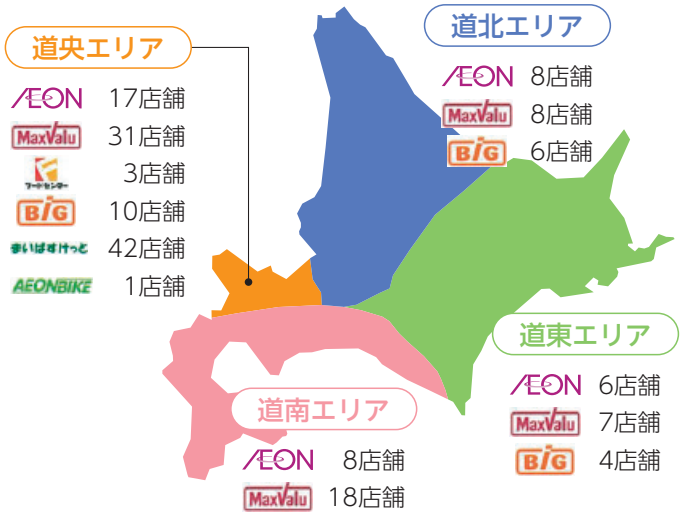
証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。
株主名簿管理人にお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書面のご提出が必要です。

本件に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部
0120-533-600
受付時間 9：00～17：00（土・日・休日を除く）
ぜひQ&Aもご利用ください。
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

店舗情報／会社概要

店舗情報（2023年11月1日現在）



木を植えています
私たちはイオンです

会社概要（2023年8月31日現在）※店舗数は2023年11月1日現在

社名	イオン北海道株式会社
本社	〒003-8630　札幌市白石区本通21丁目南1-10
事業内容	総合小売業
設立	1978年4月5日
資本金	61億43万円
上場金融商品取引所（証券コード7512）	東京証券取引所スタンダード市場 札幌証券取引所
決算期	2月末日
売上高	3,172億円（2022年3月～2023年2月）
店舗数	イオン・イオンスーパーセンター　39店舗 マックスバリュ・ザ・ビッグ・フードセンター　87店舗 まいばすけっと　42店舗 イオンバイク　1店舗
従業員数	12,664名 ※パートタイマーは月間160時間換算
主要取引銀行	北洋銀行、北海道銀行、三井住友信託銀行、 北海道信用農業協同組合連合会

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。